水無月の松尾大社と天龍寺

川邉泰嗣

2024年6月4日、洛星3期同期生家族15名で水無月の松尾大社および臨川寺と天龍寺を特別拝観した。昼食は嵯峨にある、同期生佐々木真君の弟のレストラン「ぼるた」でステーキを楽しんだ。

11:30松尾大社

渡来人秦氏の氏神であり、お酒の神様としても有名な京都最古の松尾大社を、南禰宜の案内で特別に拝観できた。

1） 京都一周トレイル西山コースの松尾山山頂の磐座（いわくら）にあった神社を、飛鳥時代 701 年に渡来氏族・秦氏が氏神として現地の松尾大神に祀るようになった。

2）「神像館」では、三体の御神像は平安時代初期の作で、等身大坐像・一木造り、我が国の神像彫刻中、最古最優品として重要文化財に指定されている。

3）境内には「東福寺方丈庭園　八相の庭」で有名な重森三玲の最晩年の傑作庭園“松風苑”（蓬莱の庭・曲水の庭・上古　の庭）がある。四国の吉野川上流から運んだ緑泥片岩を多用した豪快華麗な作風が特徴。

4）お酒の神様としても有名で、大山咋神・市杵島姫命を祭り、境内に霊亀ノ滝、亀ノ井の名水があり、酒造家の信仰が厚い。

12：30野菜とステーキのレストラン「ぼるた」で昼食
1）同期で京大理学部卒のフルート奏者佐々木マコの実弟が嵯峨駅前で経営するレストラン。川勝さん曰く「久しぶりの本物の味、素晴らしかった」。
2）マコのお母さんが「京大卒で、なぜフルート奏者になったの？」とあの独特の秋田弁での嘆き節や、マコが高槻で関西初の独演会を開催するときに、「ぼるた」でチケット販売の作戦会議をした思い出など話が尽きなかった。

15：00天龍寺
1）ぼるたでの歓談の昼食が長引き1時間遅れで、参観した。天龍寺は1339年後醍醐天皇の菩提を弔うため、夢想国　師を開山として、時の足利尊氏によって建立された臨済宗の本山の一つ。
2）明治維新の蛤御門の戦いで焼失したが、唯一残った禅堂が平成12年修復され、その天井画が加山又造作の八方睨み「雲龍図」。小川総務総長の説明によると、龍の左目が北極点となり、その周りを円に沿って堂内を歩くと、龍に睨まれていると感じる。しかし大方丈に飾られてある、1763年曽我蕭白作の襖絵「雲龍図」の迫力にははるかに及ばずとの印象であった。
3）夢想国師による庭園「曹源池」は1994年世界文化遺産に登録されている。

16：00臨川寺

1）通常非公開の夢想国師が晩年を過ごしたお寺で、本堂「三会院」とご墓所を見学した。時間遅れで、坂上老師の御話が聞けなかった。

次回京都見物には今回のような非公開寺物の見学が重要ですが、年配者の体力を考慮し、余裕を持った予定時の管理と足の便の手配に配慮ください

世話人：川越幸三　雨宮幸三　坂上直（4期生）